

高等教育計画経営シリーズ16

2025年10月10日(金)

新・高等教育へのチャレンジ——

# オンライン大学のコンセプトと教学展開

～ “脱” 時間・場所／学びの革新／教育課程と履修システム／学修成果 ～

- ※ オンライン大学とは／曖昧化する通学制と通信制の境界から／オンデマンド授業で人は学べるか／場所性
- ※ [東京通信大] 生成AI時代への挑戦／個別化支援／データ×AIで学習者・教員支援／学修成果評価
- ※ [ZEN大] 完全オンライン大学／ネットとリアルを融合／教育課程・履修システム／一期生の実像

田口 真奈 氏 / 京都大学 大学院教育学研究科 准教授  
 加藤 泰久 氏 / 東京通信大学 情報マネジメント学部 学部長  
 若山 正人 氏 / ZEN大学 学長  
 (学)日本財団ドワンゴ学園 理事

2025年10月10日(金) 日本教育会館会議室／オンライン



一般社団法人  
高等教育計画経営研究所

日時：2025年10月10日(金) 13:00 ～ 16:50  
 会場：日本教育会館 704会議室 (東京・神保町)  
 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL03-3230-2833  
 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」、  
 A1出口より徒歩4分  
 Web：「Zoom」によるオンライン  
 ※ 受講証の送付をもって参加受付となりますので  
 必ずご確認ください。  
 参加費：A. ご一名(資料代込) 37,000円(税込)  
 B. メディア参加(資料・音声データ送付)  
 38,000円(税込)  
 ※ 「メディア参加」とは、  
 開催当日に受講が難しい方の参加形式。  
 開催後に当日配布資料及び講義の音声データを送付。  
 ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が  
 悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、  
 FAXまたはE-mailにてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・当日払いがあります。  
 三菱UFJ銀行麹町支店 普通0399197  
 <口座名 (一社) 高等教育計画経営研究所>  
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。  
 申込先：高等教育計画経営研究所  
 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10  
 ライオンズマンション平河町 106  
 Tel：03 (3234) 1231 Fax：03 (3234) 4993  
 E-mail：kkkk@kotokyoiku-kken.or.jp  
 HP：https:// www.kotokyoiku-kken.or.jp

＜参加申込みの折は、必ずお送りください＞

## 研修会参加申込書

高等教育計画経営シリーズ16

### オンライン大学のコンセプトと教学展開

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ )

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

(□に✓印を)

- 参加方式  会場参加  オンライン参加  メディア参加  
 支払方法  銀行振込  当日払い  
 必要書類  請求書  見積書  領収書

(書類宛名 \_\_\_\_\_ )

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>13:00 }</p> <p>14:10</p>	<p>□ オンライン大学のコンセプトと教学展開 ～ 曖昧化する通学制大学と通信制大学の境界から ～</p> <p style="text-align: right;">京都大学 田口 真奈</p> <p>1. オンライン大学とは (1) 概念として誕生した「通信制大学」「オンライン大学」 (2) 日本における「通信制大学」 (3) 大学通信教育における授業の方法</p> <p>2. 曖昧化する通学制大学と通信制大学の境界 (1) 大学における「いつでもどこでも」の教育はいつ誕生したのか (2) コロナ禍がもたらした変化 (3) ミネルヴァ大学における学びの特徴</p> <p>3. オンデマンド授業で人は学べるか (1) 探究的学習のサイクル (2) 教材を授業にするしかけ (3) 大学における場所性</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
<p>14:20 }</p> <p>15:30</p>	<p>□ [東京通信大学] 生成AI時代の大学教育への挑戦 ～ 学習支援・学習設計の革新と成果評価の未来へ ～</p> <p style="text-align: right;">東京通信大学 加藤 泰久</p> <p>1. 生成AI時代がもたらす大学教育の変容 (1) 生成AIが加速する教育変革と価値創造 (2) 個別化・即時支援を可能にする生成AI (3) 教員とAIの協働による新たな教育実践</p> <p>2. 東京通信大学における学習環境と学習者支援 (1) LMSと学習データによる可視化と活用 (2) 主体的な学びを促す学習支援環境 (3) データ×AIで進化する学習者・教員支援</p> <p>3. 未来へ向けた大学の新たな使命と展望 (1) 生成AI時代における学修成果評価と学位の信頼性 (2) 多様な学習者と共生社会をともに創る大学 (3) 生涯学習とリスクリングによる社会貢献</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
<p>15:40 }</p> <p>16:50</p>	<p>□ [ZEN大学] 完全オンライン大学のコンセプトと教学展開 ～ 多様化する教育環境の視点から ～</p> <p style="text-align: right;">ZEN大学 若山 正人</p> <p>1. 完全オンラインの大規模大学 (1) 設立の必要／背景 (2) ZEN大学の概要 (3) オンライン教育の魅力と課題</p> <p>2. ZEN大学での学修（紹介） (1) オリジナル学習システム“ZEN Study” (2) カリキュラム (3) 課外プログラム (4) 特徴を持たせた研究センター／プログラム</p> <p>3. ZEN大学第一期生の実像 (1) 高校3年生の進路としての通信制大学 (2) ZEN大学への進学を志願した理由 (3) ZEN大学が育成する人材像</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

「オンライン大学のコンセプトと教学展開」セミナー

□ 企画の趣旨

現在、わが国の高等教育は、18歳人口のさらなる減少、ICT・生成AIの深化の中で、グローバルな大転換期を迎えております。

各法人・大学におかれては、理事・教員・職員、そして学生・院生、さらにOG・OB各位の智恵を結集し、新・高等教育の計画経営を拓くべく、ご精励のことと存じます。

政策サイドからのシナリオとしては、「選別と集中」施策が加速しています。しかしながら、各法人・大学にとっては、この30年代～40年代の状況に対しては、まさに自立・主体的に、賢明かつ大胆に対処することが肝要といえましょう。

例えば柔らか頭の発想で、次のシナリオがあります。残念ながら不本意・不適応で、中退する学生が多い状況があります。その学生たちをターゲットにする学生募集・確保策があります。つまり、編入学生大歓迎の大学があってもよいのです。「学生の面倒見の良さ」を発揮し、高等教育の学修者として育成することに専念する大学です。その学生の状況によっては、さらなるステージに送り出す（中退させて）というトコトン「教育力」のある大学が欲しいものであります。

近年、ミネルバ大学という先駆的で、インパクトある大学が登場し、グローバルに話題となりました。しかし、日本において、追隨する大学はありませんでした。

さて、本セミナーでは、既成の通信制大学とともに、苦戦している地方・中小大学（学部・大学院）における挑戦テーマを提起しております。3人のコアパースン講師をお招きし、オンライン大学の「コンセプト」と「教学展開」について、論展と実践報告をいただきます。

つきましては、ご多用の時季と存じますが、貴大学・短期大学のコア・キーパースン各位のご参加・ご派遣についてご高配願います。